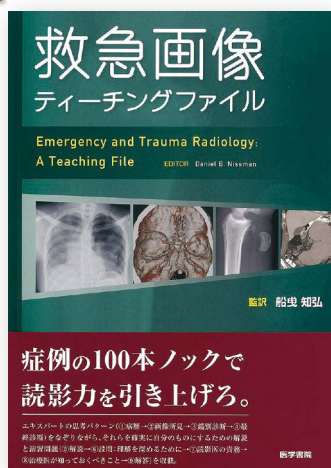


今月の特集関連本 ②

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1029) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



救急画像ティーチングファイル

Daniel B. Nissman = 編

船曳知弘 = 監訳

本体 4,800 円 + 税 / B5 判・304 頁 / 医学書院 / 2019

LWW の人気シリーズ、Teaching Files の 1 冊。「救急の画像診断」をテーマに、よく遭遇する 100 疾患に関する知識の補充・整理・復習に役立つ。エキスパートの思考パターン(①病歴→②画像所見→③鑑別診断→④最終診断)をなぞりながら、それらを確実に自分のものにするための解説と演習問題(⑤解説→⑥設問:理解を深めるために→⑦読影医の責務→⑧治療医が知っておくべきこと→⑨解答)を収載。症例の 100 ノックで読影力を引き上げよう。



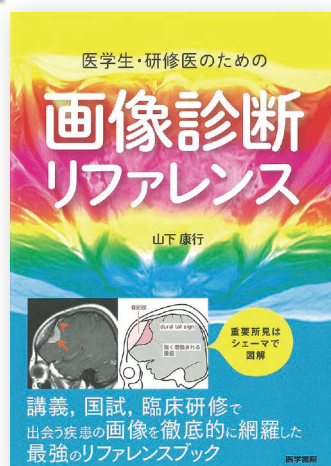
P レジデントのための画像診断の鉄則

山下康行 = 著

本体 3,800 円 + 税 / B5 判・240 頁 / 医学書院 / 2019

本特集の著者、山下康行先生 (p.970) の本、最新刊!

「CT、MRI、超音波…モダリティの使い分けはどうする?」「押さえておくべき胸部 CT のサインは?」といった、画像診断のギモンに答える 1 冊がついに登場! 著者がこれまで研修医や医学生との読影カンファレンスで語ってきた画像診断のコツやピットフォールを、最低限押さえておくべき「鉄則」としてまとめて披露する。好評発売中の『医学生・研修医のための画像診断リファレンス』と併せて読みたい 1 冊!



医学生・研修医のための画像診断リファレンス

山下康行 = 著

本体 4,200 円 + 税 / B5 判・304 頁 / 医学書院 / 2018

山下康行先生 (p.970) の好評書!

講義・国試・臨床研修で出会う疾患の画像を網羅した最強のリファレンスブックがついに登場! 重要所見はシェーマでわかりやすく図解。画像診断に苦手意識をもつ初学者にも、各疾患の病態や画像の基本的な知識が身につく構成となっている。読影するうえで理解が欠かせない画像解剖も丁寧に解説。ジェネラリストや診療放射線技師にも役立つ 1 冊。